

情報連絡一覧票 (神奈川県中央会・令和2年8月分)

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製 造 業	食料品	パ ン	コロナウイルスの影響で4～6月は学校が休校となったが、8月には学校給食が再開し、給食取扱いの組合員は対前年で売上、収益、資金繰等が好転している。一方、市販事業（特にデパート催事等）中心の組合員は、イベントの中止も多く、対前年で売上は減少となっている。業界平均としては前年並みの状況である。
		酒 造	令和2年7月の清酒課税移出数量の特定名称酒は対前年比83.54%と下回った。内訳は、吟醸酒97.77%、純米吟醸酒103.74%、純米酒76.20%、本醸造酒62.66%となった。特定名称酒以外の普通酒も対前年比80.60%と下回り、合計で対前年比83.14%と前年を下回る結果となった。
		ひ も の	例年8月は全国的に帰省客や夏の観光行事見物客等で人の動きが多くなる時期だが、今年の人出はGoToトラベルキャンペーンが打ち出されたにも関わらず、過日各交通機関が利用状況（結果）を発表したとおり極端に少なかった。結果、当組合でもお盆期間中の売上が対前年比50%を確保できた者は良いほうで、依然厳しい状況にある。
		製 麵	今月も依然としてコロナウイルスの影響が続いている。8月は例年ならお祭りやお盆休みでイベントの注文があるが、今年はイベント自粛の影響で全て無くなってしまった。このまま中止が続くとイベントの開催自体無くなってしまいそうな気がして早く平常に戻ってほしいと願うばかりである。
	木材・木製品	家 具	手持ち受注残高はすでに消化し、ゼネコンの見積もりが減少するなど先行き受注への不安感が強い。持続化給付金を受領し、家賃支援給付金への申し込みを行った業者が多い。資金繰り面の影響は、これから深刻化する。長期化に備え、「新型コロナウイルス特別貸付」への関心が高い。コロナ禍が長期化し、大幅な改善は当面なく、1年後も厳しいとみる業者が多い。一方、「家にいる時間」が増えたため、家具の出番と前向きに考え、テレワーク用の家具などや飛沫防止スクリーンなど新しい需要に創意をこらす業者も一部にいる。
	印刷	製 本	景況は変わらず低迷している。各社、新型コロナウイルス対策支援融資を受け、当面の運転資金は確保しているが、需要の低迷が長期化するとの厳しい状況である。9月から組合理事会が再開されるので、今後の対策について話し合う予定である。
印 刷		新型コロナウイルス感染は、未だ有効な治療薬が確立されていない中、経済の低迷が長期化し、印刷会社は大変厳しい経営を強いられている。さらに、深刻な事態になる前に組合として、神奈川県独自の支援をお願いしたく、次の要望書を提出した。 ・ 神奈川県信用保証協会の審査基準の緩和と速やかな決済 ・ 融資にあたっての手続きや提出書類の簡素化 ・ 40%の売上減少が何ヶ月も続くなど、国の基準では対象にならない企業を支援するための、神奈川県独自の基準による持続化給付金制度の創設 ・ 国が検討中の3分の2家賃補助に対する家賃相場に応じた神奈川県独自の上乘せ給付	
	化学・ゴム	石 油 製 品	組合員に景況を伺ったところ、次のように話していた。「8月は操業日数が少なかったものの、全体では前年実績の売上高を確保し、収益については経費削減を徹底しているので、営業利益では前年を上回る見込み。なお、原油価格の下落により、ナフサ価格が下がり、原料の純品価格が下がってきているので、相対的に再生品の魅力が薄れ苦戦している。輸出は各方面からの引き合いが増加しており、生産計画がタイトになってきている。」
	窯業・土石製品	砕 石	出荷が見込まれる物件は一定数を保っている中、工事進捗遅れが改善しつつあり、持ち直し傾向が出てきた。案件の動かない地域もあるが、当月は相対的にいくらか上向きとなった。
		工 業 塗 装	昨年10月の消費増税による景気後退と現在のコロナ禍の経済縮小により厳しい経営環境である。特に、当月の夏季休暇は例年より長期かつ変則的で、取引先の稼働日数が少なく受注が少ない。9月以降の経済活動を注視していきたい。取引先全般がコロナウイルスの影響か、例年より生産量が2割程度減っている。コロナウイルスの影響でかなり厳しい状態だが、この先まだ続きそうだ。
		工 業 団 地	7～8月の共同受電電気使用量は、前年比プラスは維持している。食品関係大口需要家1社を除くと、それぞれ▲21%、▲17%と引き続き厳しい状況にある。家賃支援給付金の支給を受けた企業が数社あった。

鉄鋼・金属	工業団地	大手メーカーの生産計画見直しによる受注減少は続いており、20～30%受注減が続いている。受注減少を補うべく、新規取引拡大などの取り組みで若干の成果は出てきているものの、受注減少をカバーするまでには至っていない。	
	工業団地	前月同様、今期後半の目途が立たない。お盆休暇（連続9連休）の企業も多い。業種、主要取引先にもよるが、前年比マイナスでも早い回復を祈る状況。【参考】ETCコーポレートカード利用状況 令和2年3～7月 前年比 ▲20.1%、令和2年7月 前年同月比 ▲13.8%	
	金属製品	先月と変わりなく中小企業は厳しい状況にある。10月からある程度の受注が見込めるという話も出てきており、新型コロナが徐々に収束すればという期待感がある。	
その他の製造業	工業中心の複合業種	8月後半は徐々に受注も上向き傾向ではあるが、波があり不安定。まだ廃業や倒産は出ていないが、各会員の同業者の中には廃業となった企業も多いと聞いている。従業員5名以下の零細企業は特に厳しい状況。雇用調整助成金を活用し、勤務時間、事務のテレワーク等、出勤の調整を続けている企業も多く、しばらくはこの状況が続くそうである。	
	工業中心の複合業種	世界的に設備投資が進まずプラント・工作機械等の受注が大幅に減少し生産調整が長引いている。大規模展示会等が中止・延期される他、営業活動自粛による機会損失が発生。外出・会食等の自粛による生活環境の変化により、受注変化への対応が困難な状況。飲食業の営業自粛、イベント自粛による影響が製造業へも波及してきている。	
	工業中心の複合業種	引き続き厳しい状況にあるが、リーマンショック程の大きな影響は今のところ感じられない。今後の受注見込みが立たず不安である。資金はコロナウイルス特別貸付の融資を受け、落ち着いている。	
非製造業	卸売業	菓子	売上は減少したままで、回復していないようである。各社、雇用調整など創意工夫に努めているが、売上が回復しなければ、これから資金繰りが一層厳しくなることが予想される。
		卸地	売上については、前年同月比で減少。緊急事態宣言が解除されたものの、依然として新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前年比減収。一方、巣ごもり需要による特需で増収の企業もあり、販売ターゲットによる業績格差が顕著に表れている。大幅減収の企業においては、緊急特別融資で資金繰りを保っている状況。
		料理材料卸	首都圏の感染症は、まだまだ収束が見えず、飲食店には体力が持たない所もあり、営業を止める店も出てきている。売上は7月以上に悪化している。
		歯科用品	一時的とは思いますが、顧客である歯科医院に対し、設備・消毒関係予算として100万円の補助金が決定したため、その関係商品が品薄になっており、売上も増加している。
		リサイクル	市中の回収は低下が続いているものの、アジア向け古紙輸出ルートにおいて引き合いが出ており、輸出市況は堅調となってきた。日本の製紙メーカーは秋冬需要が膨らむ9月から増産を見込んでおり、輸出価格の動きに注視している。
		リサイクル	古紙市況は、市中の回収量は低下が続いているが、アジア向けの古紙輸出は引き合いも増えており、強気ムードとなっている。鉄スクラップ市況も、アジアのベトナム、韓国、台湾などからの引き合いが活発で、内外での価格上昇のもと上昇基調である。故繊維市況は、売り先の確保難となっており、供給余剰が続いており、輸出の主要仕向け先であるマレーシアでも流通停滞となっている。業界では引き続き家庭での衣類の処分を控えてもらうよう要請している。
小売業	菓子	コロナ禍の今だからこそ、当組合も若手を中心としたデジタル世代の力を借りて経済回復の糸口を見つけた。上部団体が販促イベントを企画中なので、これで一連の流れを作ればと思う。	
	青果	8月に入り、連日猛暑が続き、前月からの多雨による日照不足により、各産地生育不良で、野菜、果実ともに全般にわたり、出荷量少なく相場は高値が続いた。依然、新型コロナウイルスの影響や、お盆休みもあり、一般小売業は客足が悪く高値で、販売には苦戦を強いられ、厳しい状況が続いた。総体的には、巣籠需要により、大型店は好調で、価格は高値であったため、前年比 販売量 113%、販売高 120%であった。	
	電化製品	夏の暑さのおかげでエアコン等、夏物商品が大変好調になり、売上アップに繋がった。	
	鮮魚	猛暑の影響で客足が遠退いている。海水温の変化のためか、入荷が非常に少ない。今年は美味しいサンマが食べられないかもしれない。	

	燃 料	8月に入り梅雨も明け、油外収益等を期待したが、コロナ禍の影響により、外出を控える人が増え、洗車等が伸び悩んでいる状況。また、燃料油も伸び悩み、前月比92~93%という状況。8月下旬には、小幅な値上がりが見込まれており、販売減の中、9月商戦に向け、コロナ禍の影響が続く中、厳しい状況が続くことは必至と考えている。
	共 同 店 舗	新型コロナウイルスの影響を受けて9月末で閉店する店舗がある。
	タ イ ヤ 販 売	コロナウイルスの影響により、消費者による需要が減少している。今年の冬のスタッドレスタイヤは旅行者の減少から需要減となるだろう。生産財に関しては輸出入の減少で海上コンテナの運送が減っていることから、需要減になっている。
商店街	横 須 賀 市	8月期はコロナ禍の中、猛暑の影響もあり、来街者の減少傾向が続いた。特に夜は客足が厳しい状況。8月末より、横須賀市が発行する10,000円で、12,500円分の買い物ができるプレミアム商品券「よこすか地元のお店応援券」による消費の喚起により遠のいた客足を呼び戻したい。
	横 浜 市	飲食店を中心にコロナウイルスの影響はまだ大きい。イベントを秋に予定していたが、中止とした。感染予防対策に気を遣っている。
	藤 沢 市	先月同様、生鮮加工食品等の業種は概ね好調である。コロナ禍で外遊機会の減少による影響が大きい業種（衣料・化粧品・バイク自転車・インテリア）は苦戦している。65歳以上の高齢層の来店が多い商店街であり、今年の猛暑による客足の鈍りを予測していたが、ほぼ前年並みの売上客数であった。
	川 崎 市	今月になり、急に梅雨が明け、今度は猛暑となり、日中出歩くのが危険なぐらいの暑さが続きました。コロナウイルス感染が拡大し続けている状態でお盆時も帰省や旅行に行く人は少ない状態が続いている。来月から季節は秋になるが、商店街の販促活動を少しずつ行おうと考えている。
	相 模 原 市	新型コロナウイルス感染拡大により、3月から休止していた「朝市」が、8月16日に6ヶ月ぶりに再開した。クラスターの発生等を心配しての開催であったが、感染防止対策を十分とって実施。久しぶりの開催で心配された来場者も8割方来場し、お客様も「朝市」の再開を待ち望んでいたようだ。
サービス業	温 泉 旅 館 ・ ホ テ ル	お盆は高稼働だったが、例年と違い直近予約が多かった。GoToトラベルの影響か、高単価の部屋の稼働が良かった。
	医 療 業	医療機関外来、薬局処方箋は前年比85~90%前後を推移し、患者が戻っておらず、4~6月よりも改善するも厳しい状況が続いている。行政よりPCR検査等のできる医療機関手上げが指示され、組合の医療機関（病院、診療所）も検査機関として登録を始めてきている。障がい者施設等がコロナウイルス感染のため、通所利用者のデイサービスが中止となり、給食数が減少した。
	フ ァ イ ナ ン シ ャ ル プ ラ ン ナ ー	売上高は減少傾向が続いているが、FPに対する研修セミナーの参加人員は、8月については増加してきた。また、個人相談件数も増加してきている。一部の部門で好転の兆しが見えてきた。
	情 報 サ ー ビ ス 業	①売上高、販売価格、取引条件は各社でばらつき。雇用人員は不変に比し増加社多。収益、景況は全ての社で悪化。コロナウイルス対応のため、在宅勤務、自宅待機は継続している。在宅勤務可能な者は、すべてテレワークに移行したが、プロジェクトによって現場復帰者も出てきた。自宅待機者の売上は無償のまま（全額控除）。予防休暇として給与控除し、同額の休業手当支給は継続している。 ②助成金の給付時期を早く教えてもらいたいが、いつになるのか不明（6/17申請4月~5月分が7/28に入金した）。制度融資を活用して資金調達を実施した。これにより当面の資金繰りは問題なくなったが、返済を開始するまでに業況を回復させないと返済が滞ってしまう。9月納期で遂行していた2プロジェクトが消滅した。 ③昨年度の8月が締め関係で売上が落込んでいたため、対前年では売上増加も、新人の配属ができないことやコロナの影響での一部業務縮小がジワリとジワリと出てきて不稼働要員が増加してきている。特に、在宅勤務で結果の出せない若手や報・連・相ができない者が契約解除となっている。 ④顧客から要望をいただいていた契約が、新型コロナの影響で縮小されるケースが出た。コロナ感染の状況を鑑みて在宅勤務者の割合を増やした結果、部分的に生産性の劣化が出ている。 ⑤コロナウイルス騒動により営業活動は殆ど停止。新規案件の確保は困難だが、既存プロジェクトは在宅勤務にて継続基調。収益は対前年比で悪化していますが、大きく赤字です。
	建 物 管 理	オリンピック延期とコロナウイルスの影響のせいか、募集の人員確保に動きが生じている。

	建築設計	横浜市の区庁舎9棟の建替えの条件整理の委託があった。2030年代以降に築70年を迎える施設群で約半数に上る。今後も小中学校、地区センター、スポーツセンター、地域ケアプラザ等で建替え条件整理の検討に入っていくだろう。「コンクリートから人へ」の号令の下、これまで新築は抑制され、改修を基本に施設維持が図られてきた。今後は建物の複合化を含め、市民ニーズにかなった建替えが求められよう。
	柔道整復師	異常な暑さが続く中、熱中症対策と新型コロナウイルス対策が重なり、基本的に外出する人が減少。それに伴い来院者数も減少しており、保険請求も対前年同月比で40%程度減少してきており、今後、新型コロナウイルス対策が続けば、業界はかなりの打撃を被ると推察される。
建設業	管工	業界に係る公共工事は概ね順調であるものの、コロナ禍により民間工事が低調である。下期の経済活動の好転に期待したい。
	電気工事	コロナウイルスにより、観光客減少により観光二次産業である地域では建設業も影響が出ている。過度な受注競争が露になってきており、人材不足も発生。
	空調設備工事	未だにコロナ禍の影響で現場が一時止まりで遅れている現場がある。三密回避するための作業工程の調整で工事の遅れも発生。一部では、今までどおりの現場もあるが、今後どうなるかがわからない。
	畳工	コロナウイルスが長引けば長引くほど、経済は冷え込み、これから閉鎖する事業者がどれだけ増えるのかが不安である。
	建具	業界としての課題について後継者不足と仕事の減少がある。特に仕事の減少については建具ユニットの普及により、製作が減っている。
運輸業	道路貨物	コロナ禍の影響が長引くと、経営が圧迫され、先行きの見通しも全く見えない。特に海コン業者は非常に厳しい状況である。
	道路貨物	家賃支援給付金を利用する企業が多い。
	道路貨物	荷量については8月になって多少回復基調になってきたが、前年同月に比べると、2～3割ほど荷量の確保の動きがある、との声が組合員より多数聞かれる。九州の豪雨災害の影響が長引いており、九州からの返路便の荷量が確保できないため、同地向けの仕立てができなくなったとの組合員が数社あった。荷主が新型コロナウイルス対策として経費削減のための運賃見直しを行っており、荷量が少なくなっている上に、運賃の値下げを迫られ、経営状況がさらに悪化しているという組合員が多くなった。倉庫については遠隔地から配送効率の良い圏央道周辺への見直しの話が多くなってきた。
その他の非製造業	歯科技工	前年度と比べると売上は変わらないが、歯科用貴金属が高値を更新し、収益状況に影響を与えている。歯科材料の保険点数が上がりなければ、受注も増えず、収益状況の改善はない。
	不動産	8月は営業日数も少なく、毎年売上は減少する。この先、懸念されるのは、仕事を失った入居者への対応で、政府の補助金だけでは当然対応できず、住む家を失う人も多くなる。新しく住居を確保したくても、4月からの民法改正で連帯保証人が使用しづらくなっており、保証会社を利用する不動産会社が大多数なので、審査を通るのは難しい。結局、家賃を停滞したまま住み込み続ける方が多くなり、その対応をするのは街の不動産屋となる。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
製造業	パ ン	この状況下での最低賃金1円引き上げについて組合員から不満の声が多い。
	工業中心の複合業種	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用調整交付金等支援策の継続について要望して欲しい。 ・製造業への設備投資を促す施策を講じて欲しい。 ・中小飲食店(含レストラン・居酒屋等)への固定費・資金繰りへの支援を手厚くし、倒産・廃業防止に努めて欲しい。 ・製造業、配送業従事者へのワクチン接種の優先度を考慮して欲しい。
卸売業	卸 団 地	令和元年9月の早朝に到来した台風15号で、当団地一帯が海水の浸水被災。台風15号被災復旧が途上の中で、新型コロナウイルスに伴う自粛要請により、消費意識は委縮し、減収傾向。新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発出から1ヶ月半で宣言が解除されたが、行政からの事業者支援のスピード感が鈍いと言わざるを得ない状況。かつてない、不況となる事態であること、給付金、借入金の資金交付スピードが遅いことを考慮し、国税、地方税、社会保険の支払猶予のみでなく、国税、地方税、社会保険の減額、免除、還付請求も可能となるよう、支援体制構築をお願いしたい。
小売業	共 同 店 舗	空き店舗対策と景気向上
サービス業	情 報 サ ー ビ ス 業	コロナ対策を継続してほしい。
	柔 道 整 復 師	様々な経済支援策をビデオ等で分かりやすく解説したものを公開して、組合員に周知できるようにしてもらいたい。